

REFEREE NEWS



July 2019

年4回発行(1, 4, 7, 10月)



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会



益々のご活躍を！



～2019年度永年功労表彰式～

5月11日(土)千葉市生涯学習センター会議室において、2019年度永年功労表彰式を開催いたしました。
20年表彰と30年表彰において、当日ご出席いただきました表彰者の皆様に山岸委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された方々には後日発送にてお届けいたしました。

◀10年表彰者▶ 173名(記念品として10年表彰トスコインを送付)

◀20年表彰者▶ 西本 滋一氏

◀30年表彰者▶ 浜道 秀二氏、三好 正次氏、浦田 光行氏



当日ご出席いただいた皆様
左から 三好氏、山岸委員長、浦田氏、浜道氏

目次			
・2019年度永年功労表彰式	・・・1～3	・昇級者のみなさま紹介	・・・12～13
・決勝審判インタビュー	・・・3～6	・レフェリーフィットネスコラム	・・・14
・今日も地域で頑張っています！！	・・・6～9	・推薦審査、昇級認定審査のお知らせ	・・・15～18
・ユース研修OB、OGの今(番外編)	・・・10～11	・更新講習会のお知らせ	・・・19
・ユース&若手審判員研修会開催	・・・12	・その他お知らせ	・・・20

表彰者の皆様よりお言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。



《30年表彰者》

● 浜道 秀二(はまみち しゅうじ)氏

私は鎌ヶ谷市で子供がサッカーを始めたのがきっかけで、お父さん審判としてサッカーに携わる事になりました。その後二人の子供は成長しクラブを卒業してからも、私はクラブでの活動を続けながら審判資格を取得し、審判員としての活動を続けていく中で徐々にやりがいを持つようになりました。

クラブ以外にも市のサッカー協会に関わる事になり、市の審判の責任者も務めさせていただきまして、今日まで審判活動を続けてく事ができました。いつの間にか30年の月日が経ちましたが、ここまでやってこられたのもクラブの皆様をはじめ、市や県のサッカー協会関係者の皆様のご指導に支えられましたおかげと、有り難く感謝しております。また陰ながら応援してくれた家族にも感謝しています。

30周年という月日は又、色々な意味で節目の年になりました。今日の表彰も励みとなり一つの節目ですが、私の活動の基盤となる「鎌ヶ谷コーポラスサッカークラブ」を支える意味でも、次のステップとして子供たちと一緒にやっていく状況があります。市のサッカー協会も色々な意味で時代と共に様変わりしております。この度、市のサッカー協会では重責を担う役職に任命いただきました事もあり、これからもサッカーに携わり審判の後継者を育成しつつ、微力ながらももう少し頑張りたいと思っております。



● 三好 正次(みよし まさつぐ)氏

地元の白井市でサッカーをやる人がいなく、まず協会を立ち上げなければいけない状況がありまして、まず審判4級を取得して、そうしたら先輩の指導者から「4級を取ったら3級を取れ！」と言われまして、2年間の実績を積んで3級を取得しました。

その時の思い出として、それはそれは試験の厳しい事！50m、400m、12分間走においては3,000m走りなさいと言われて、40近い男が毎晚会社から帰って来てからトレーニングに励み、試験のときは3,150m位走り合格する事が出来ました。それと同時に筆記試験が厳しくて解答は全て記述式で競技規則を全て覚えなければならない試験でしたがなんとか合格できました。それと同時にサッカー協会から「C級コーチの資格を取りなさい！」との事で取得し、今でも資格を維持しております。

今では70名ほど参加するシニアサッカー教室を月2回開催しております。私も、もう少しだけ市のサッカー協会を維持して若い人に引き継いで頑張りたいと思います。



● 浦田 光行(うらた みつゆき)氏

流山市のボランティアチームの翼少年サッカークラブに所属し約35年、子供達と一緒に楽しく活動してまいりました。振り返ってみますと、息子が小学校1年生からサッカーを始めた時にお父さんコーチをやりませんかと誘われたのがきっかけで、現在に至っております。

息子が3年生の時の県知事杯準決勝の試合において、フリーキックでゴールした3回が全てやり直して、4回目が外れてゴールキックから再開になった事がありました。又、イエローカードが出たのに選手もベンチも何がイエローカードなのか良く分からず、当時は、笛が鳴ってから蹴るようにと教えてくれなかったのです。(当時、審判はルールを教えるはいけないような雰囲気がありました)

応援席からこのシーンを見た時、お父さんコーチとして審判資格を取り、頑張っている子供達にルールを説明出来る様にならなければと感じ、4級審判資格を取得し現在に至っております。15年位前に3級を取得、その3年後位にフットサル3級も取得しました。現在は、地元中心にサッカー・フットサルの審判活動をしております。



この4月に古希を迎えます。まだ走れるようなので3～4年位頑張っ
て子供達の役に立てたらと思っております。本日は本当にありがとうございました。

当日、都合によりご欠席された方からもメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。

《20年表彰者》

● **西本 滋一(にしもと しげかず)氏**

この度は、永年表彰を賜り誠にありがとうございました。子供が小学生の時に地域チーム(初石少年サッカークラブ)にお世話になった事から「お父さんコーチ」を経て審判活動を始め、1995年に4級、1998年に3級を取得し、大きな怪我もなく約24年間続けており、担当させていただいた試合数が昨年末で930試合となりました。このように長く続ける事が出来ておりますは、審判委員会や地域の方々、そして選手の皆さんの御理解と御協力があったのもので、改めて皆さまに感謝致します。また毎回、お弁当に笑顔を添えて送り出してくれた妻にも感謝しなければなりません。今後も体力と気が続くようにトレーニング努め、選手たちの安全で楽しいサッカーをお手伝いしつ、「Referee」という特等席でのサッカーを楽しみたいと思います。